

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	3年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の多様性を尊重し、個性や能力を伸ばすために常にカリキュラムマネジメントに努める。 ○生徒一人ひとりの学習や進路等の目標を実現させる。 ○生徒の主体的な学習活動を充実させ、学力を育成する。 ○授業改善の取組みを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の主体的な学習活動を充実させるための効果的な取組みを推進する。 ②組織的な授業改善の取組みを充実させることで、個々の教員の授業力向上と生徒の学力増進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①朝学習、スタディジョギング等の取組みを推進し、生徒の学習意欲を引き出す。 ①夏期講座等で、生徒の学習意欲を引き出せるような企画を検討し、自学自習の習慣づけを進める。 ②教科間の連携を深めながら、校内における研究授業や教員相互の授業参観を組織的に推進する。 ②他校での公開授業等への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①朝学習やスタディジョギング等の実施により、自学自習の習慣の定着や学力向上に一定の効果がみられたか。 ①夏期講座の参加者が前年度より増加したか。 ②教科を越えた研修等により、生徒の主体的な学びに対応できる授業実践が生まれたか。 ②他校での公開授業等への参加者が前年度より増加したか。 					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な相談体制を整備する。 ○生徒一人ひとりの個を捉えた支援体制を確立する。 ○グローバル社会を生きる能力の獲得と自立する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体としての教育相談体制が機能するようにする。 ②生徒一人ひとりに対する生徒支援の実現を目指す。 ③「自主自立」を実現できる生徒の育成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各学年の生徒情報の共有とともに、教育相談コーディネーターが中心となって、学校全体として教育相談を機能させていく。 ②SCやSSWと連携し、生徒の抱える多様な問題に対応して支援していく。 ③考えて行動する機会を数多く設け、生徒の自立を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育相談が、各学年とコーディネーターが連携して組織的に機能したか。 ②精神面だけでなく、学校生活、家庭での問題なども支援し、不登校の状態の生徒をなくすことができたか。 ③基本的な生活習慣に乱れはなかったか。反社会的行動はなかったか。 					

	視点	3年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>○生徒が主体的に進路を選択できるような支援体制の確立と生徒の進路意識の向上を目指す。</p> <p>○シチズンシップ教育の取組みを充実させ、生徒が積極的に社会参加するための能力を育む。</p>	<p>○新たな大学入試等に対応した取組みと、生徒の進学希望の変化に応じて、きめ細かな進路指導を実施し、生徒個々の進路実現に向けた支援を行う。</p>	<p>①進路希望調査及び、計画的な面談を通して生徒個々の希望を的確に把握し、様々な進路希望に合わせた進路ガイダンスの充実を図る。</p> <p>②外部組織との連携を図り、最新の情報を得るとともに、生徒が自らの進路実現に向けた取組みに対して積極的に支援する。</p>	<p>①進路希望調査を適切に実施できたか。面談を通して把握した進路希望に対して適切なガイダンスを実施できたか。</p> <p>②最新の情報を的確に生徒、保護者に提供し、その情報を生かした進路指導ができたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>○コミュニティ・スクールを活用し、地域との協働を図り、生徒の生きる力を育む。</p> <p>○地域貢献活動やボランティア活動に取り組む意欲や行動力を育成する。</p>	<p>①地域の教育力を活用し、様々な分野の事象を専門的に学ぶ。また、本校の取組みを新校へ継承できるよう整備する。</p> <p>②地域と連携し、地域貢献活動やボランティア活動に取り組む意欲や行動力を育成する。</p>	<p>①「総合的な探究(学習)の時間」において、学外の地域の方々の指導の下、幅広い教育活動を実践する。</p> <p>②委員会や部活動、学年などの単位で社会参加活動を計画・実践する。</p>	<p>①生徒が前向きに取り組み、幅広い教育活動が実践できたか。また、新校への土台作りができたかどうか。</p> <p>②どれだけ多くの生徒が積極的に参加したか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>○学校経営を計画的に行い、定期的に見直し・改善することにより、学校運営の適正化を図る。</p> <p>○教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。</p> <p>○安心安全な教育環境の整備と職員の事故・不祥事防止に努める。</p>	<p>①教員の働き方改革を推進し、職場全体での意識改革を図る。</p> <p>②生徒にとって安心安全な学校となるよう、常に教育環境の点検と整備に努める。</p> <p>③定期的に事故防止会議を開催し、職員一人ひとりが自分事として事故・不祥事防止に努める環境をつくる。</p>	<p>①職員各自で退庁時刻を記録したり、休日登下校簿を記入することにより、長時間労働防止を意識させる。</p> <p>①年休取得の促進を全職員に働き掛け、職場全体の年間年休率60%以上を目指す。</p> <p>②校内の施設設備点検を綿密に行い、異常があれば速やかに対応する。</p> <p>③各グループ主導の事故防止会議とし、職員各自に自分事としての自覚を高めさせる。</p>	<p>①連日、機械警備開始直前まで執務する職員がいなくなったか。休日の部活動指導の負担は適正か。</p> <p>①年休、振休等の取得が推進したか。</p> <p>②施設設備の異常に素早く対応できたか。</p> <p>③職員に事故防止意識が浸透し、些細なミスも含めた事故を予防できたか。</p>					